



「自学・友愛・自律」 令和7年10月3日

第8号

鶴中だより



全国学力・学習状況調査（令和7年4月 3年生を対象に実施）の結果から

令和7年4月17日（木）、3年生を対象に行われた「全国学力・学習状況調査」の分析結果、今後の指導などについてお知らせいたします。

【国 語】根拠を明確にすること、推敲・修正する力はやや高く、全体的に無回答率も低かったのですが、文章構成、展開を意識して書くことに課題があり、条件に合わせて書くこと、その際のポイントなどを指導します。また、事象の行為を表す語句の理解についても課題があるので、授業時間内での意味確認の時間を確保し、ICT機器だけではなく、辞書の活用を推奨します。



【数 学】グラフから必要な情報を読み取ること、多角形の外角についての意味理解は概ねできていましたが、関数の領域の学習に課題があり、無回答率もやや高めでした。今後は、 x や y の増加量と変化の割合の関係を丁寧に指導します。

【理 科】気体の性質、抵抗に関する知識が概念として概ね定着しており、実験器具の操作などについての知識、技能も比較的よく身についています。しかし、地層に関する知識・技能に関連付けて分析、解釈する力に課題がありますので、知識のつながりを実感させる機会を増やしたり、領域を横断する問題に取り組みます。同時に、探究活動における目的意識を高める指導も行っています。

【質問紙】肯定的にとらえている生徒が比較的多かった項目は、以下のとおりです。

- ・将来の夢や目標を持っている。
- ・学校の授業以外に、普段（月曜～金曜）1時間以上読書する。
- ・1, 2年生時の授業で、ほぼ毎日PCやタブレットなどのICT機器を使用した。
- ・これまでの生活の中で、自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがあった。

肯定的な回答の割合が比較的低く、改善が必要な項目は、以下のものです。

- ・学校に行くのが楽しい。
- ・学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。
- ・分からぬことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができている。

以上のこと踏まえ、学校に行くのが楽しい、と思えるために、日常の人間関係をよりよくしていくことや、生徒が主体的に活躍する場を増やすこと、学習事項の復習の充実、創意工夫しながら学ぶことができるよう、教育活動を工夫していきます。ご意見、お気づきの点などありましたらご連絡ください。後期は運動会、部活動の加賀地区大会や県大会、職場体験（2年）職業講話（1年）などの行事が予定されています。保護者の皆様には、学校と共にお子さんの頑張りを励まし、支援していただきますよう、今後ともよろしくお願ひいたします。